

# 琉球新報

THE RYUKYU SHIMPO

第36662号

発行所 琉球新報社  
〒900-8525那覇市天久905番地  
電話 098(865)5111  
©琉球新報社2011年

パリで開かれた「メゾン・エ・オブジェ」に出展した石垣焼窯元(石垣焼窯元提供)



## 海の青 石垣焼世界へ

### 仏の有名見本市 石垣焼窯元が初出展

【石垣】世界最高峰のインテリアとデザインの関連見本市「メゾン・エ・オブジェ」が21～25日にフランス・パリで開かれ、県内から石垣市名産の石垣焼窯元(金子晴彦代表)が初めて出展した。沖縄のコバルトブルーの海を表現したガラスと油滴天目の陶器の融合が特徴の石垣焼窯元の作品は、「エコロジカルアート」(環境芸術)として注目を集めた。

金子代表(49)は「ヨーロ

ッパの登竜門でもある見本市に出展できて、本当に光栄」と話す。フランス料理ではほとんど白い器しか使われていないが、「ブルーの食べ物には世の中に存在しない。創作料理などで石垣焼の皿に白いソースがかかると絶妙なバランスで、盛りつけも芸術作品のようになる。次世代の皿がブルーになるよう、頑張っていきたい」(金子さん)といい、今後、欧米などに進出する意欲を見せている。